



ば は ら

波原便り高

県立辺土名高等学校
令和6年11月5日(火)
発行者 校長 桃原健次
第12号

地震・津波避難訓練

11月5日(火)この訓練は、県地域防災計画に基づき、実践的な訓練を通して、地震・津波に対する防災意識の啓発や津波避難計画等の検証を行い、地震・津波災害にかかる防災体制の向上を図ることを目的として行われています。**地震発生から津波到達が10分以上ある場合は水平避難**(校舎裏門から東側・饒波部落へ更に石山方面へ)。地震発生から津波到達まで**10分未満の場合は垂直避難**(普通教室棟の3階へ)することとしております。今回は垂直避難を行いました。また、地震・津波訓練とは別途に校内での火災発生を想定して、避難・消火訓練を実施しました。日頃からの意識付けの必要性を感じました。



県高等学校新人体育大会

10月26日(土)～新人体育大会が行われ、ソフトテニスとウエイトリフティングが参加しました。沖縄市の県総庭球場で行われた**ソフトテニス部(女子)**は、団体戦は強豪の糸満高校(女子：優勝)に力及ばず敗退、個人では、宮城上岡ペアが1勝しました。



豊見城高校で行われた**ウエイトリフティング競技**は女子団体2位、女子個人：上地(2年)2位、玉城(2年)3位、男子個人：鈴木(1年)3位、努力の成果が出てきています。



おい、お茶～沖縄県環境活動～

10月19日(土)

「お～いお茶」ブランドの飲料を販売する(株)伊藤園が、日本及び海外の森林・水・生物多様性をはじめとする保全活動などを行っており、今回は名護市 屋我地島 饒平名干潟のマングローブ林の外来植物「ヒルギダマシ」分布拡大の現状に対し、従来からある植物の保全、干潟生態系の保全を目的に、本校の**サイエンス部生徒19名+引率2名**や一般応募による参加者、沖縄伊藤園の社員など約50名が参加し、移入種の影響を専門に研究されている名城大学 国際観光産業学科 新垣教授の指導のもと、「ヒルギダマシ」の駆除活動を行いました。駆除活動を通して参加者に環境活動に対する意識の大切さを共有し、参加者からは「ヒルギダマシの増殖を防ぐ活動の重要性を知った!」「地元だからこそ、沖縄の海を守っていききたいと思った」という声があがっていました。また、**本校の生徒がリトルティーチャーとして、やんばるの生物とマングローブに関するミニ講座**も行いました。

国頭地区高等学校PTA研究発表大会

10月12日(土) 本校多目的室

国頭地区の高校(辺土名高校から宜野座高校までの7校)のPTAによる研究発表大会が、本年度は事務局当番校である辺土名高校が運営しました。本校PTA会長(宮城聡治)のあいさつに始まり、本部高校PTA(喜納政樹)よ



る「地域と共に! グランドゴルフでつながる絆」の研究発表がありました。その後、やんばる自然保護官事務所 国立公園保護管理企画官(成田智史)を講師として教育講演「やんばるの自然環境とその保全及び利活用について」が行われました。研究発表会の司会を一年生の保護者・高橋さんに担っていただき円滑な進行の発表会でした。感謝!!

※波原便りは辺土名高校のホームページにて、過去号も含めご覧になれます。